

プリンタードライバーガイド

(Windows 版 CP-W5000 シリーズ)

Microsoft、および Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Adobe、Adobe Photoshop はアドビシステムズ社の商標で、特定の法域で登録されています。その他の記載の会社名および商品名は、各社の商標および登録商標です。

プリンタードライバーの最新情報は www サーバーでもご提供しています。
<http://www.MitsubishiElectric.co.jp/vcp/>

使用環境

- コンピューター : Pentium 以降の CPU を搭載したコンピューター
主記憶メモリ : 512Mbyte 以上
ハードディスク : 空き容量 512Mbyte 以上
USB ケーブル : 2m 以下のケーブル推奨
* ご使用になるオペレーティングシステムが正常動作できる環境でご使用ください。

ドライバーフォルダー	対応オペレーティングシステム
CPW5000_Tool_DrvWinJP_Ver101	Windows® 7 (32 ビット /64 ビット)
	Windows® 8 (32 ビット /64 ビット)

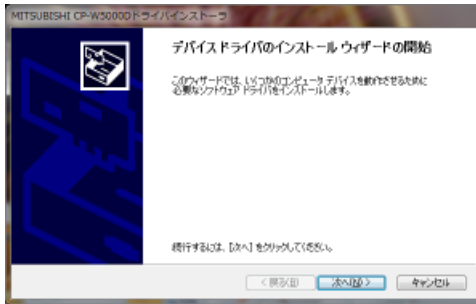
- * CP-W5000 シリーズのプリンターは USB2.0 (Hi-Speed USB) インターフェース対応です。USB2.0 は USB1.1 の完全上位互換のため、CP-W5000 シリーズのプリンターは USB1.1 インターフェース動作可能 PC と接続可能です。
- CP-W5000 シリーズのプリンターを USB2.0 (Hi-Speed USB) でご使用になりたい場合は、PC 側が USB2.0 (Hi-Speed USB) に対応している必要があります。PC 側の USB2.0 (Hi-Speed USB) 動作については、ご使用になっている PC メーカーにご確認ください。
- * プリンタードライバーをインストールしてからプリンターを接続してください。
- * バージョンの異なるドライバーを同時に使用することはできません。
- ドライバーがすでにインストールされている場合は、アンインストールした後、ドライバーのインストールを行ってください。
- * 本プリンタードライバーは XPS 対応ドライバーです。
- 「XPS」は、XML Paper Specification の略称です。

インストール

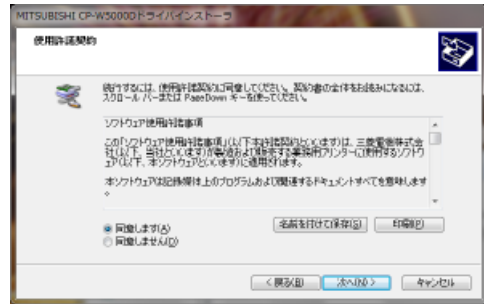
1. Windows 7

1.1. ドライバーのインストール

- * Windows 7 でのドライバーのインストールは、プリンターを PC に接続する前に行ってください。
- 1) Windows® 7 operating system を起動します。
 - 2) Administrator または Administrator グループメンバーとしてログオンします。
 - 3) プリンタードライバーのフォルダーより、インストーラー (Install_Drv.exe) を「管理者として実行」で起動します。
 - 4) 画面に従いインストールをします。
「デバイスドライバのインストールウィザードの開始」で「次へ」ボタンをクリックします。(図 1)
 - 5) 「使用許諾契約」で、使用許諾書に同意の上、「同意します」を選択します。(図 2)



<図 1>

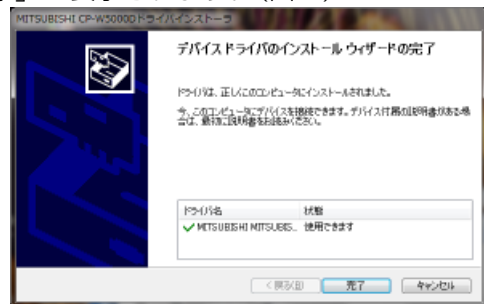


<図 2>

- 6) 「Windows セキュリティ」で「インストール」をクリックします。(図 3)
- 7) 「デバイスドライバのインストール ウィザードの完了」が表示されます。(図 4)



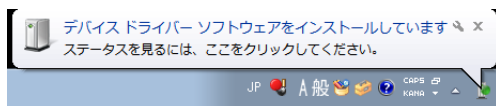
<図 3>



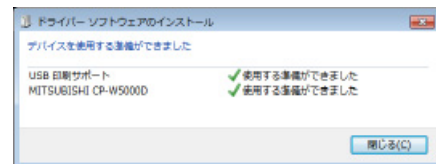
<図 4>

1.2. USB ポートのインストール

- 1) プリンターの電源を入れて、USB ケーブルでプリンターを PC に接続します。
- 2) デバイスドライバーソフトウェアが自動でインストールされます。ステータスを確認するには、図の表示をクリックします。(図 5)
- 3) 「閉じる」ボタンをクリックします。(図 6)



<図 5>



<図 6>

- 4) 「デバイスとプリンター」の「プリンターと FAX」に「MITSUBISHI CP-W5000D」のアイコンが追加されます。
- 5) PC を再起動してください。

2. Windows 8

2.1. ドライバーのインストール

* ドライバーのインストールは、プリンターを PC に接続する前に行ってください。

- 1) Windows® 8 operating system を起動します。

以下は、1. Windows 7 の 1.1. ドライバーのインストール 2) ～ 7) と同じです。

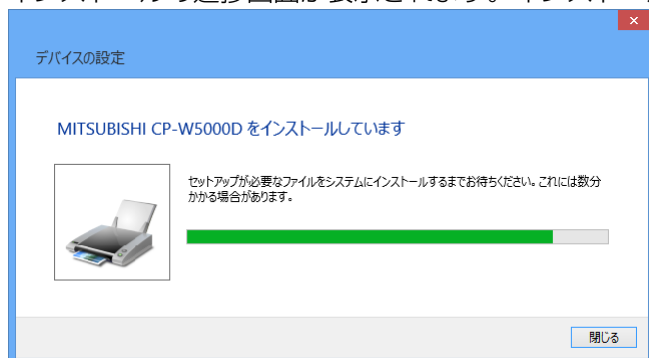
2.2. USB ポートのインストール

- 1) プリンターの電源を入れて、USB ケーブルでプリンターを PC に接続します。
- 2) デバイスドライバーソフトウェアが自動でインストールされます。ステータスを確認するには、タスクバーのプリンターのアイコンをクリックします。(図 7)



<図 7>

- 3) インストールの進捗画面が表示されます。インストールが完了すると画面は消えます。(図 8)



<図 8>

- 4) 「デバイスとプリンター」の「プリンター」に「MITSUBISHI CP-W5000D」のアイコンが追加されます。
- 5) PC を再起動してください。

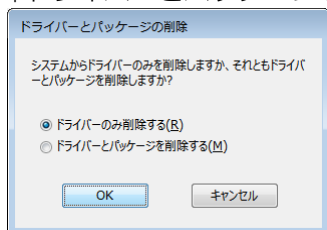
アンインストール

プリンタードライバーをアンインストールするには、以下の手順に従って操作してください。
アンインストールを行う場合は、アプリケーションからプリンタードライバーを使用していないこと、または印刷ジョブがスプーラ内に残っていないことを確認してください。
プリンターが通常使うプリンターに設定されていないことを確認してください。
また、アンインストール後に再度プリンタードライバーをインストールするときは、インストールの完了後に再度 PC を再起動してください。

Windows 7 の場合

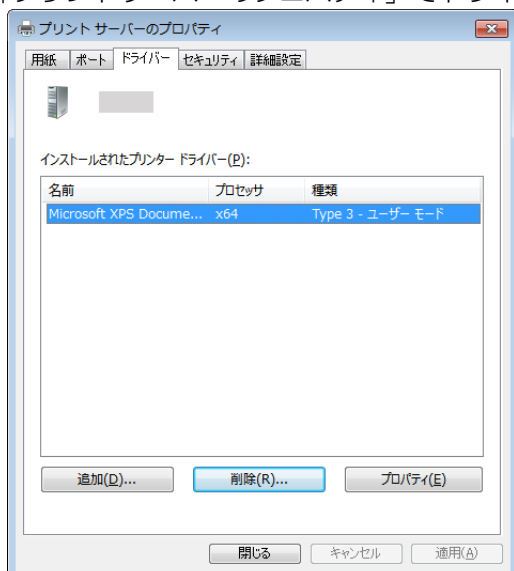
- 1) スタートボタンを押して、メニューより「デバイスとプリンター」を選択します。
- 2) アンインストールするプリンターのアイコンを右クリックして、「デバイスの削除」を選択します。
- 3) 「デバイスの削除」の確認ダイアログで、「はい」ボタンをクリックします。
- 4) 「プリンターとFAX」の欄のいずれかのアイコンをクリックして選択した状態にして「プリントサーバープロパティ」を選択します。
- 5) 「プリントサーバーのプロパティ」でドライバーのタブを開き、「ドライバー設定の変更」ボタンをクリックします。
* オペレーティングシステムのバージョンによっては、この画面は表示されない場合があります。
- 6) 左下に「ドライバー設定の変更」ボタンのない、同様の画面が表示されます。削除するプリンタードライバーを選択して、「削除」ボタンをクリックします。
- 7) 「ドライバーとパッケージの削除」ダイアログで「ドライバーのみ削除する」を選択し、「OK」ボタンをクリックします。(図 9)

【重要】「ドライバーとパッケージを削除する」を選択しないでください。



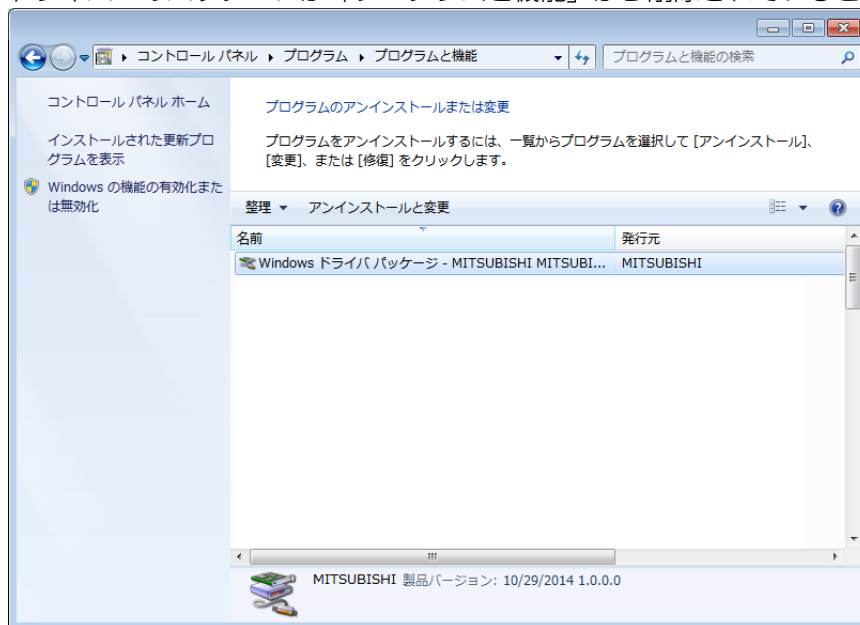
<図 9>

- 8) 「プリントサーバープロパティ」の確認ダイアログで「はい」をクリックします。
- 9) 「プリントサーバーのプロパティ」でドライバーが削除されていることを確認します。(図 10)



<図 10>

- 10) 「コントロールパネル」で「プログラムと機能」を選択します。
- 11) 「Windows ドライバパッケージ - MITSUBISHI MITSUBISHI CP-W5000D」を選択し、「アンインストールと変更」を右クリックで選択します。(図 11)
ドライバのパッケージが「プログラムと機能」から削除されていることを確認します。



< 図 11 >

- 12) PC より、USB ケーブルを抜いてください。
- 13) PC を再起動します。

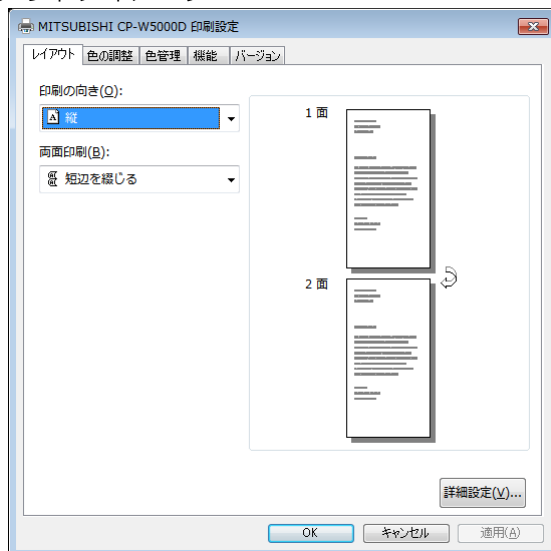
Windows 8 の場合

* アンインストール時は、インストール時の USB ポートに接続してください。

- 1) デスクトップを表示して、Windows 「スタート」 キー + 「C」 でチャームを表示して、「設定」 から「コントロールパネル」を選択し、「デバイスとプリンター」を選択します。
- 2) アンインストールするプリンターのアイコンを右クリックして、「デバイスの削除」を選択します。
- 3) 「デバイスの削除」の確認ダイアログで、「はい」 ボタンをクリックします。
- 4) 「プリンター」の欄のいずれかのアイコンをクリックして選択した状態にして「プリントサーバープロパティ」を選択します。

以下は、Windows 7 の場合の 5) ~ 13) と同じです。

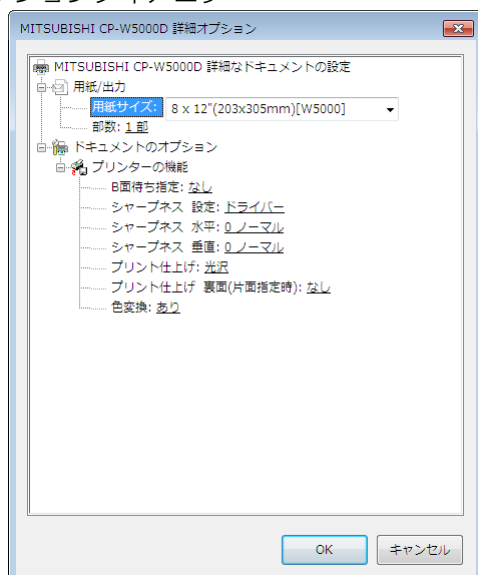
1. レイアウトダイアログ



<図 12 レイアウトダイアログ (Windows7) >

- 1) 印刷の向き
印刷の向きを設定します。
- 2) 両面印刷
片面印刷か両面印刷かを設定します。
なし : 片面で印刷します。
長辺を綴じる : 両面で長辺綴じで印刷します。
短辺を綴じる : 両面で短辺綴じで印刷します。
- 3) 詳細設定
詳細オプションダイアログを開きます。

2. 詳細オプションダイアログ



<図 13 詳細オプションダイアログ (Windows7) >

1) 用紙サイズ

用紙のサイズを選択します。

用紙サイズ別プリント画素数を表に示します。

用紙サイズ	プリント画素数 (dots)
6 × 12" (152 × 305mm) [W5000]	1864 × 3624
6 × 4" × 2 (KG 判 × 2) [W5000]	1864 × 2484
6 × 4" × 3 (KG 判 × 3) [W5000]	1864 × 3744
6 × 4" (KG 判) [W5000]	1864 × 1224
6 × 6" (152 × 152mm) [W5000]	1864 × 1824
6.8 × 4.8" (173 × 122mm) [W5000]	2104 × 1464
6.8 × 9.6" (173 × 244mm) [W5000]	2104 × 2904
7 × 5" × 2 (2L 判 × 2) [W5000]	2164 × 3084
7 × 5" (2L 判) [W5000]	2164 × 1524
8 × 10" (203 × 254mm) [W5000]	2464 × 3024
8 × 11" (203 × 279mm) [W5000]	2464 × 3324
8 × 11.7" (203 × 297mm) [W5000]	2464 × 3534
8 × 12" (203 × 305mm) [W5000]	2464 × 3624
8 × 4" × 2 (203 × 102mm × 2) [W5000]	2464 × 2484
8 × 4" × 3 (203 × 102mm × 3) [W5000]	2464 × 3744
8 × 4" (203 × 102mm) [W5000]	2464 × 1224
8 × 6" × 2 (203 × 152mm × 2) [W5000]	2464 × 3684
8 × 6" (203 × 152mm) [W5000]	2464 × 1824
8 × 8" (203 × 203mm) [W5000]	2464 × 2424

用紙サイズの設定により、プリント画素数は異なります。

2) 部数

部数の設定をします。(設定範囲 1 - 999)

2 部以上の場合は、部単位の設定をします。

* 部単位なしで複数ページプリントするときは例のようになります。

(例) 3 ページを 2 部印刷 出力結果: 1p 1p 2p 2p 3p 3p

* 部単位ありで複数ページプリントするときは例のようになります。

(例) 3 ページを 2 部印刷 出力結果: 1p 2p 3p 1p 2p 3p

3) B 面待ち指定

ありの場合、両面印刷時、奇数ページ指定時に、最後のページを印刷後、B 面のデータを待ちます。

なしの場合は、奇数ページ指定時に、最後のページは白色で印刷します。

注意) 部数が 2 以上に設定されている場合、「なし」に設定することをお勧めします

* 下記に両面印刷の例を示します。

[1,2]: 画像 1 と画像 2 で両面印刷を示します。

[3,x]: 画像 3 と裏面が白紙の両面印刷を示します。

B 面待ち指定「なし」の例

例 1) 3 画像、部数 2、部単位「あり」

[1,2],[3,X],[1,2],[3,x]

例 2) 3 画像、部数 2、部単位「なし」

[1,2],[1,2],[3,X],[3,X]

B 面待ち指定「あり」の例

例 3) 3 画像、部数 2、部単位「あり」

[1,2],[3,1],[2,3]

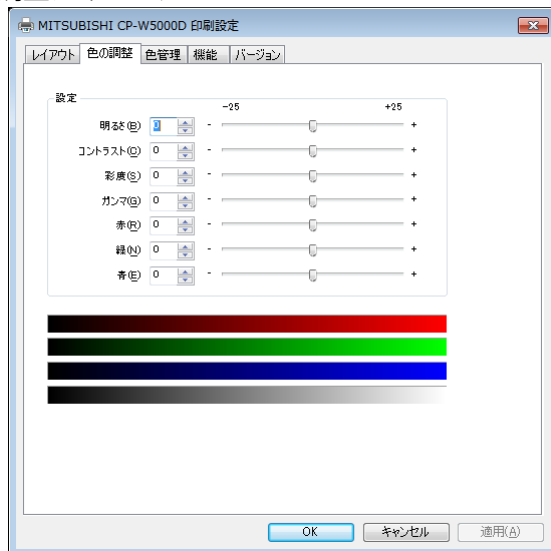
例 4) 3 画像、部数 2、部単位「なし」

[1,2],[1,2],[3,3]

* 「あり」に設定した場合でも、所定の時間を経過すると、B 面が白紙でプリントされます。

- 4) シャープネス 設定
 プリンター：プリンター内部の輪郭補正設定で動作します。
 ドライバー：ドライバーで設定した輪郭補正設定で動作します。
- 5) シャープネス 水平
 なし / -3 / -2 / -1 / 0 / 1 / 2 / 3 / 4
 水平方向の輪郭補正の強さを変更します。
 なし：輪郭補正を行わない。
 -3 ~ 4：値が小さいと輪郭がソフトになります。
 値が大きいと輪郭がシャープになります。
 * 本設定は、「シャープネス 設定」が「ドライバー」の場合に動作します。
- 6) シャープネス 垂直
 なし / -3 / -2 / -1 / 0 / 1 / 2 / 3 / 4
 垂直方向の輪郭補正の強さを変更します。
 なし：輪郭補正を行わない。
 -3 ~ 4：値が小さいと輪郭がソフトになります。
 値が大きいと輪郭がシャープになります。
 * 本設定は、「シャープネス 設定」が「ドライバー」の場合に動作します。
- 7) プリント仕上げ
 両面印刷、および片面印刷時の印刷面の仕上げを設定します。
 光沢：つやのある仕上がりです。
 半光沢：ややつやのある仕上がりです。
 マット：つやのない仕上がりです。
 * 両面印刷設定時に、奇数枚の画像を選んで印刷する場合、最後のプリントの裏面（B 面）は、おもて面（A 面）と同じプリント仕上げで B 面を白色プリントします。
 両面印刷時には、偶数枚の画像をプリントすることを推奨します。
 * 両面印刷設定時に、タイムアウト時間内に裏面（B 面）の画像データがプリンターに送られなかったときにも、同様におもて面（A 面）と同じプリント仕上げで裏面（B 面）を白色プリントしますので、ご注意ください。
 * タイムアウト時間はプリンターで設定できます。タイムアウト時間の設定は、プリンターの取扱説明書を参照してください。
- 【「おもて面（A 面）、裏面（B 面）」について】
 おもて面（A 面）：ペーパーロールの内側面にプリントされます。
 裏面（B 面）：ペーパーロールの外側面にプリントされます。
- 8) プリント仕上げ 裏面（片面指定時）
 片面印刷時の裏面の仕上げを設定します。
 光沢：つやのある仕上がりです。
 半光沢：ややつやのある仕上がりです。
 マット：つやのない仕上がりです。
 なし：表面仕上げを行いません。
- 9) 色変換
 あり / なし
 あり：色変換を行います。
 なし：色変換を行いません。
 * 「色管理」ダイアログで、「ICM の方法」が「ドライバー」に設定されている場合、設定に関わらず、色変換はなしで動作します。

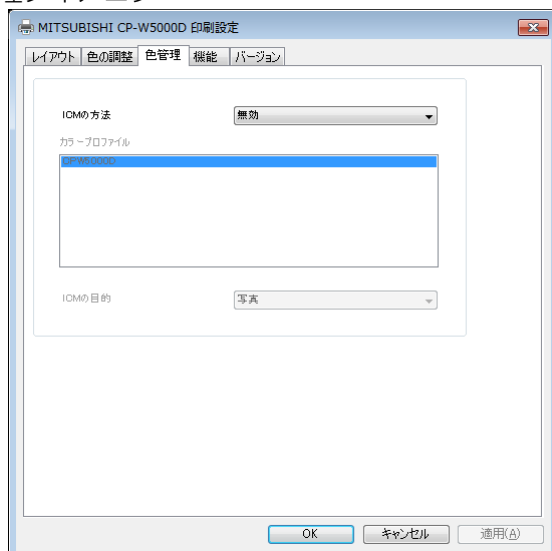
3. 色の調整ダイアログ



＜図 14 色の調整ダイアログ（Windows7）＞

- 1) 明るさ
画像の明るさを調整します。調整値（-25 ～ +25）
全体的に暗い画像や明るい画像に対して有効です。
明るさの値が小さいほど、画像全体が暗くなります。
- 2) コントラスト
画像のコントラストを調整します。調整値（-25 ～ +25）
コントラストの値が大きいほど、明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗くなり、画像のコントラストが強くなります。
- 3) 彩度
画像の鮮やかさを調整します。調整値（-25 ～ +25）
彩度の値を大きくすると彩度が上がり色味が強くなります。彩度の値を小さくすると彩度が落ちて色味がなくなります。
- 4) ガンマ
画像の中間調部の濃度を調整します。調整値（-25 ～ +25）
ガンマの値が小さいほど、中間調部が暗くなります。
- 5) 赤
赤色の色味を変更できます。調整値（-25 ～ +25）
値を小さくすると、赤みが弱くなります。
値を大きくすると、赤みが強くなります。
- 6) 緑
緑色の色味を変更できます。調整値（-25 ～ +25）
値を小さくすると、緑みが弱くなります。
値を大きくすると、緑みが強くなります。
- 7) 青
青色の色味を変更できます。調整値（-25 ～ +25）
値を小さくすると、青みが弱くなります。
値を大きくすると、青みが強くなります。

4. 色管理ダイアログ



＜図 15 色管理ダイアログ（Windows7）＞

1) ICM の方法

ICM の方法を設定します。

無効 : システムやドライバーによる「色の管理」の設定は適用されません。ただし、アプリケーションにて独自の機能として色の管理を実装されている場合には、色に変換される場合があります。

ドライバー : プリンタードライバーが色の管理を行うように設定します。

* 使用するプロファイルのファイル名は MITSUBISHI_CPW5000.icm で指定します。

システム : オペレーティングシステムが色の管理を行うように設定します。

2) カラープロファイル

ドライバーのカラープロファイルを示します（CPW5000D）

* 使用するプロファイルのファイル名は、「MITSUBISHI_CPW5000.icm」です。

3) ICM の目的

ICM の方法でドライバー指定時に、ICM の目的を設定します。

一致 : 入力されたカラープロファイルと出力されたカラープロファイルの両方にて使用できる色は全て一致します。入力カラープロファイルにしか存在しない色は、出力プロファイル上で一番近い色に変換されます。

校正 : 一致と同様、入力プロファイルにしか存在しない色は、出力プロファイル上で一番近い色に変換されます。また、変換先の色調をリファレンスとすることで、それに合わせるように変換元の色調を変える為、色に予想外の変化が現れる可能性があります。

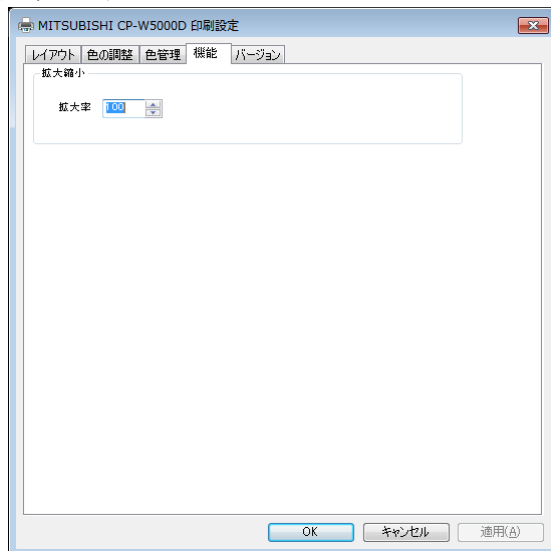
写真 : 入力プロファイルにしか存在しない色があり、出力プロファイルが使用できる色の範囲に合わせる必要がある場合、入力のカラーデータ全てを対象に、データの値のスケーリングを行います。データ内の色の関係は維持されますが、色自体については維持されない可能性があります。

グラフィック : 入力されたデータの色の彩度を、出力後も維持されるよう、変換を行います。彩度の維持を優先する為、色が変更される可能性があります。

プリンターのプロパティの「色の管理」タブで設定されている ICC プロファイルにより、色管理の処理を行います。「色の管理」タブで ICC プロファイルが設定されていない場合は、色管理の処理が行われません。ICM の方法の「ドライバー」の設定を使用する場合は、ICC プロファイルのファイル名を「MITSUBISHI_CPW5000.icm」で設定してください。ファイル名が異なると、「ドライバー」の色管理の処理は行われません。

ICC プロファイルについては、「お客様の目的に合った使用法」の「2. ICC プロファイルの作成について」をごらんください。

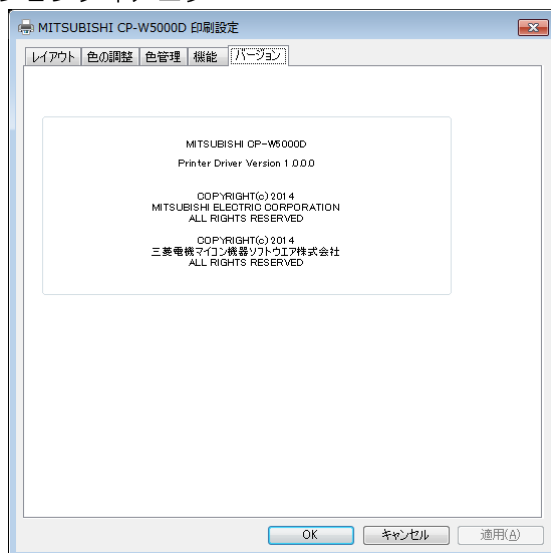
5. 機能ダイアログ



<図 16 機能ダイアログ (Windows7) >

拡大 / 縮小率
拡大縮小の値を設定します。(設定範囲 10 - 400%)

6. バージョンダイアログ



<図 17 バージョンダイアログ (Windows7) >

ドライバーのバージョン表示をします。

7. エラー表示

No.	エラー表示	表示ボタン	処理内容
1	プリンターが接続されていません。	OK	OK ボタンをクリックし、プリンターを接続（プリンターの電源投入／I/F ケーブル接続）すると、印刷処理を再開します。
2	データ転送エラーです。	OK	OK ボタンをクリックするとダイアログが消え、プリントジョブが削除されます。プリンターの電源を入れ直した後、再度印刷処理を実行してください。
3	プリンタからのレスポンスがありません。	OK	OK ボタンをクリックするとダイアログが消え、プリントジョブが削除されます。プリンターの電源を入れ直した後、再度印刷処理を実行してください。
4	プリンターにエラー（xxxx）が起きました。	キャンセル	エラーを解除するとダイアログが消え、自動的に印刷処理を再開します。 キャンセルボタンをクリックすると、印刷処理を中止します。プリンター内の全てのジョブをキャンセルし、印刷処理を中止します。 ※（XXXX）には数字が表示されます。
5	選択した用紙サイズとインクリボンの組み合わせが違います。		
6	プリンターにインクリボンがセットされていません。（xxxx）		
7	インクリボンが終了しました。（xxxx）		
8	インクリボンエラー（xxxx）		
9	フロントドアが開いています。（xxxx）		
10	プリンターに用紙がセットされていません。（xxxx）		
11	トップドアが開いています。（xxxx）		
12	スライドドアが開いています。（xxxx）		
13	クリーニングローラーカバーが開いています。（xxxx）		
14	用紙が終了しました。（xxxx）		
15	プリンター内部に用紙が残っています。（xxxx）		
16	紙づまり（xxxx）		
17	メカエラー（xxxx）		
18	ファンロックエラー（xxxx）		
19	サーマルプリントヘッドが高温です。（xxxx）		
20	サーマルプリントヘッドが低温です。（xxxx）		
21	動作温度が高温です。（xxxx）		
22	動作温度が低温です。（xxxx）		
23	動作湿度が高すぎます。（xxxx）		
24	センサーエラー（xxxx）		
25	EEPROM エラー（xxxx）		
26	LCD アクセスエラー（xxxx）		
27	FLASH アクセスエラー（xxxx）		
28	MDA エラー		
29	電圧エラー（xxxx）		
30	Transponder アクセスエラー（xxxx）		
31	プリンタードライバーの設定が正しくありません。		
32	転送画像サイズが範囲外です。		
33	プリンターがメニューモードです。		
34	プリヒートエラー（xxxx）		
35	サーマルプロテクトエラー（xxxx）		
36	プリンター内のデータ転送エラー（xxxx）		
37	湿度センサーエラー（xxxx）		
38	たてカット屑が残っています。（xxxx）		

- * PC 上にエラーが表示されず、プリンターからの印刷も行われない場合は、プリンターの前面インジケータの表示を確認してください。
プリンターにエラーが発生している場合は、エラーを解除すると自動的に印刷処理を再開します。
プリンターの前面インジケータの表示については、CP-W5000D シリーズのプリンター取扱説明書を参照してください。

- * 以下のオペレーティングシステムや設定以外でプリンターをご使用の場合は、エラー表示を行わない場合があります。

インターフェース	オペレーティングシステム	設定
USB	Windows® 7	「双方向サポートを有効にする」に設定されている。
	Windows® 8	

- * プリンターの電源が入っていない／I/F ケーブルが接続されていない場合は、ジョブは削除されません。プリンターの電源を入れる／I/F ケーブルを接続することにより、再度データが転送されます。

注意事項

- 1) スプールファイル用のハードディスクの確保
スプールファイル用のハードディスクの容量を、使用されるプリンターと印刷枚数にあわせ十分確保してください。不足した場合正しく印刷できないことがあります。通常、スプールファイル用ドライブはウィンドウズシステムのドライブと同じドライブです。
- 2) プリンター操作
プリンター操作については、本体取扱説明書を参照してください。
印刷データ転送中および印刷実行中にプリンターの電源を切らないでください。
やむなく、電源が OFF した場合、ホスト PC の再起動が必要となる場合があります。(印刷ドキュメントの削除が実行できない場合、ホスト PC の再起動が必要です。)
- 3) 色調整の適用範囲について
色調整は背景を含む印刷範囲全体に適用されます。
- 4) 「プリンターに直接印刷データを送る」の設定について
本プリンタードライバーは、XPSPDrv 形式で作成されており、XPSPDrv 形式のドライバーの制約で、「プリンターに直接印刷データを送る」の設定には対応していません。Windows 7 の場合、このオプションが有効となっていますので、使用しないでください。なお、Windows 8 以降では、誤った操作とならないように、XPSPDrv 形式のドライバーに対して、このオプションは無効化されています。
- 5) ホスト PC とプリンターの接続について
データ転送中にインターフェースケーブルは抜かないでください。やむなくインターフェースケーブルが抜かれた場合は、1 分以上の間隔を空けてから、接続を行ってください。間隔を空けずにケーブルを接続するとプリンタードライバーが正常に動作しなくなる場合があります。
- 6) USB 接続するための PC 条件
Windows 7/Windows 8 プレイインストールタイプの PC、PC メーカーにより USB 動作が保証されているものをご使用ください。
CP-W5000 シリーズのプリンターは USB2.0 (Hi-Speed USB) インターフェース対応です。
USB2.0 は USB1.1 の完全上位互換のため、CP-W5000 シリーズのプリンターは USB1.1 インターフェース動作可能 PC とも接続可能です。
CP-W5000 シリーズのプリンターを USB2.0 (Hi-Speed USB) でご使用になりたい場合は、PC 側が USB2.0 (Hi-Speed USB) に対応している必要があります。PC 側の USB2.0 (Hi-Speed USB) 動作については、ご使用になっている PC メーカーにご確認ください。
- 7) USB ケーブルの接続
プリンタードライバーのインストール後に USB ケーブルを抜き差しする場合は、ケーブルを抜いてから 10 秒以上の間隔を空けてください。間隔をあけずに抜き差しを行うと正常に動作しない場合があります。
- 8) 印刷ジョブ
データ転送中に、スプーラ内の印刷ジョブを削除しないでください。やむなく削除した場合は、プリンターが初期状態になるまで次の印刷を行わないでください。
- 9) 印刷部数
一部のアプリケーションでは、プリンタードライバーで設定した印刷部数が機能しない場合があります。アプリケーションの印刷ダイアログボックスから印刷部数の設定を行ってください。
- 10) 複数台接続
CP-W5000 シリーズのプリンターを 1 つの PC に複数台接続すると、接続した台数分、新しいハードウェアの追加ウィザードが表示され、プリンタードライバーのインストールが実行されます。接続したプリンター分のプリンタードライバーがインストールされます。
- 11) 印刷中のエラー
印刷中に何らかのエラーが発生しても、PC にエラー表示されない場合があります。プリンターの前面インジケータの表示を確認し処置を行うと、印刷処理を再開します。プリンターの前面インジケータの表示と処置については、プリンターの取扱説明書を参照してください。

- 12) 色管理の設定
プリンタードライバーで色変換を設定した場合でも、アプリケーションによっては色管理の有効とならないものもあります。
また、アプリケーションによっては色管理を OFF に設定しても、色管理が有効となるものもあります。
- 13) 印刷実行時、“パラメータの値は無効です。”と表示された場合は、以下のような操作を行ってください。
a) システムプロパティのハードウェアタブより、デバイスマネージャを選択します。
b) ハードウェアの変更スキャンを実行します。
- 14) プリンターと PC の接続
プリンタードライバーをインストールしてから、プリンターと PC を接続してください。
- 15) 詳細オプションで部数の設定は 1 枚から 999 枚までできますが、用紙サイズによって 1 ロールあたりの最大プリント枚数は異なります。
- 16) プリンタードライバーのアンインストールと再インストール
プリンターが通常使うプリンターに設定されていないことを確認して、プリンタードライバーのアンインストールを行ってください。
また、アンインストール後に再度プリンタードライバーをインストールするときは、インストールの完了後に再度 PC を再起動してください。
- 17) 本ドライバーは、WPF (Windows Presentation Foundation) アプリケーションからの印刷に適しています。WPF アプリケーションを使用することを推奨します。
- 18) 拡大縮小の設定がアプリケーションのプレビュー機能に反映されない場合があります。
ドライバーで設定される拡大縮小設定値を読み込まないアプリケーションがあり、この場合ドライバーの設定を変更によらずアプリケーションの設定で動作します。
- 19) ドライバーにアプリケーションから画像データを渡す時に、分割して送られる場合があります。アプリケーションによっては、分割部分が白い線となり、拡大縮小の処理によって、強調される場合があります。
- 20) Windows フォトビューワーでは、アプリケーションの拡大縮小の設定で動作します。ドライバーの設定では動作しません。
- 21) 一部のアプリケーションの制約で、色管理ダイアログの「ICM の目的」リストが空白になることがあります。「ICM の方法」で「ドライバー」を選択時に、「ICM の目的」が空白のとき、「ICM の目的」は前に設定した設定で動作します。
- 22) Adobe Photoshop で、用紙サイズによって、“画像サイズがプリント範囲よりも大きい”メッセージが表示されます。
画像が用紙のプリント範囲よりも大きいという警告が出た場合は、「キャンセル」をクリックし、ファイル／プリントを選択し、右側の「位置とサイズ」の設定を展開し、「メディアサイズに合わせて拡大・縮小」を選択します。
- 23) アプリケーションによって、ドライバー画面に部数表示が出ない場合があります。
アプリケーションのプリントダイアログの部数設定で設定してください。
- 24) 「B 面待ち指定」「あり」の場合の動作について
両面印刷設定時に、「B 面待ち指定」を「あり」にした場合、奇数枚の画像のジョブの場合に、前後のジョブで、前のジョブの最後の画像と、次の画像の 1 枚目の画像が両面のおもて面 (A 面) と裏面 (B 面) に印刷されることがあります。
奇数枚のジョブで、複数ジョブをスプーラに保持して印刷する場合など、前後のジョブの転送間隔が短い場合は、「B 面待ち指定」を「なし」にすることを推奨します。
また、両面印刷時には、偶数枚の画像をプリントすることを推奨します。
例) 奇数枚画像時の印刷結果
ジョブ 1 画像 1-①、1-②、1-③ B 面待ち指定 あり
ジョブ 2 画像 2-①、2-②、2-③
の場合、
ジョブ 1 とジョブ 2 がスプーラ内にある場合、下記のような両面構成で印刷される場合があります。
[1-①, 1-②],[1-③, 2-①],[2-②, 2-③]
* [1,2]: 画像 1 と画像 2 で両面印刷構成を示します。

25) 両面印刷設定時に、奇数枚の画像を選んで印刷する場合、最後のプリントの裏面（B 面）は、おもて面（A 面）と同じプリント仕上げで B 面を白色プリントします。両面印刷時には、偶数枚の画像をプリントすることを推奨します。

両面印刷設定時に、タイムアウト時間内に裏面（B 面）の画像データがプリンターに送られなかったときにも、同様におもて面（A 面）と同じプリント仕上げで B 面を白色プリントしますので、ご注意ください。

* タイムアウト時間は、プリンターで設定できます。タイムアウト時間の設定は、プリンターのオペレーションマニュアルを参照してください。

26) Windows フォトビューワで、色管理の設定時に、大量の画像を転送すると、印刷が正常に行えない場合があります。

お客様の目的に合った使用法

1. プリント画の色調整をしたい場合

（以下の設定を行ってもモニター表示画像には反映されません。）

- 1) プリント画全体の濃度を濃く（暗く）したい場合
色調整ダイアログの“Brightness” の値を小さくします。
- 2) プリント画のピントが甘い（コントラストが弱い）場合
色調整ダイアログの“Contrast” の値を大きくします。
画像のコントラストが強くなります。
- 3) プリント画の色目を変えたい場合
赤みをつける：色調整ダイアログの“R” の値を大きくします
緑みをつける：色調整ダイアログの“G” の値を大きくします
青みをつける：色調整ダイアログの“B” の値を大きくします

2. ICC プロファイルの作成について

ご使用になるシステムに合った ICC プロファイルを作成しプリンタードライバーに設定する場合、下記を参照してください。

- 1) プリンターから ICC プロファイル作成用基準カラーチャートを印刷する場合は、プリンタードライバーを下記のように設定してください。
 - ・ プリンターのプロパティの「色の管理」タブ内に設定されている ICC プロファイルを削除します。
 - ・ プリンタードライバーの「色管理」ダイアログ内にある「ICM の方法」は「なし」に設定します。
 - ・ プリンタードライバーの「詳細オプション」ダイアログ内にある「色変換」を「なし」に設定します。
- 2) 作成した ICC プロファイルは、プリンターのプロパティの「色の管理」タブから追加を行ってください。

禁止事項について

本ドライバーに対して、リバースエンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブルすることを禁止いたします。

免責について

動作環境によっては正常に動作しない場合もあります。また本製品に関していかなる損害（逸失利益、特別な事情から生じる損害等）が発生しても、一切責任を負わないものとします。